



和衷協働と挑戦・飛躍の年に

校長 緒方 直彦

師走の寒さが一段と厳しくなる中、保護者の皆様には本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今年も残すところわずかとなりました。子供たちの笑顔と成長に支えられた一年を振り返りながら、来年への希望を胸に新しい年を迎えたいと思います。

この一年を振り返ると、子供たちの「小さなできた」が積み重なり、大きな成長へとつながったことを実感します。特別支援教育の根幹は、個々の違いを尊重し、共に学び、共に生きることです。まさに「和衷協働(わちゅうきょうどう)」の精神で、保護者・地域・学校が一体となって歩むことが極めて重要です。

来年は、干支でいうと「丙午(ひのえうま)」にあたります。火の勢いを象徴する年であり、挑戦や飛躍にふさわしい年とも言われます。私たちも、新しい取り組みに果敢に挑戦していきたいと思えます。特に、子供たちの自立と社会参加を支える教育をさらに充実させ、「希望の架け橋」となる学校づくりを進めます。

最後に、今年を締めくくる言葉として「未来志向」を掲げたいと思います。過去を振り返りつつも、常に未来を見据え、子供たちの笑顔が輝く社会を目指すことが私たちの使命です。来年も、皆様と共に少しでも良い学校にするために、一歩でも前進させるという強い気持ちで歩んでまいり所存です。どうぞ良いお年をお迎えください。

2 学期を終えて

副校長 齋藤 直樹

長かった2学期も、本日をもって無事に終えることができました。保護者の皆様には日頃より本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

2学期は、行事や学習活動を通して、子どもたちが大きく成長した学期でした。友だちや教員と一緒に挑戦する中で、新しいことができるようになったり、自分の気持ちを表現しようとしたりする姿もありました。ふたば祭では一つ一つの活動に真剣に取り組む姿から、制作物の発表や練習の成果が発揮できました。また、日々の学校生活の中では、あいさつや身支度、係活動、友だちとの関わりなど、繰り返しの積み重ねを通して生活の力が成長しています。こうした子どもたちの成長は、学校だけでなく、ご家庭での継続した関わりや励ましがあってこそ実現できるものになります。日々のご協力に、改めて感謝申し上げます。

これから迎える冬休みは、子どもたちが心身ともにゆっくと過ごし、生活リズムを大切にしながら、ご家庭で安心して過ごしていただく期間となります。学期中にはできないようなご家庭での体験もたくさん行い、充実した時間をお過ごしいただければと思います。

3学期は一年のまとめの学期であり、次の学年や進路につながる大切な時期となります。本校では、引き続き一人一人の実態に応じた支援と指導を大切にしながら、安心して学び、成長できる学校づくりに努めてまいります。

ふたば祭アンケート結果のご報告

来年度は見られないのが残念です。生徒のみなさんの販売も良かったです。こちらも、来年どうなるのか気になります。(高等部)

普段は教員が行っているサポートを児童同士でやるところがとても良かった。(小学部5年生)

初舞台頑張っている姿に感動しました。前を向いて踊ってなくても笑顔だったのは感涙でした。(小学部1年)

何年ぶりかで、A部門、中高等部が体育館での演目となり生徒の皆さんも、いきいき、キラキラして迫力ある舞台設定で、とても良かったです。(中学部3年生)



迫力ある和太鼓、みんなの真剣な姿、素敵でした。よさこいのダンスもパワフルで、たくさんの元気をもらいました。(高等部1年生)

6年生の皆さん、小学部最後のふたば祭、凄くかっこ良かったです。一人一人の成長が見られて、とても嬉しいです。(小学部6年生)

ご指摘いただいた改善点は、今後の授業改善等に役立てていきます。

○健康や安全に関わる重要な連絡がある場合にはご連絡をお願いします。

※学校携帯番号につきましては、Classi で配信していますので、そちらでご確認ください。

